



## 平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社  
 コード番号 4829 URL <http://www.nihon-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝

TEL 03-5774-5730

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 <アナリスト・機関投資家向け>

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	1,907	53.3	189	35.4	197	33.2	121	39.0
24年5月期第2四半期	1,243	10.4	140	37.6	148	35.6	87	88.5

(注) 包括利益 25年5月期第2四半期 670百万円 (716.8%) 24年5月期第2四半期 82百万円 (110.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	322.25	—
24年5月期第2四半期	231.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	4,727	3,816	78.1	9,797.78
24年5月期	3,577	3,180	85.7	8,132.79

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 3,693百万円 24年5月期 3,066百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	130.00	130.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,120	47.6	390	28.2	400	25.8	225	32.3	596.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無  
詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	377,000 株	24年5月期	377,000 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	— 株	24年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	377,000 株	24年5月期2Q	377,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成25年1月11日(金)に決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)を開催する予定です。また、当日使用する決算説明会資料は、同日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォン(高機能携帯電話)の普及が本格化してきており、様々なアプリをはじめとした新たなサービスが創造される中、スマートフォン関連の市場は伸展しております。また、SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の成長に伴い、ソーシャルゲーム市場は今後も拡大が見込まれております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19億7百万円(前年同四半期比53.3%増)、営業利益は1億89百万円(同35.4%増)、経常利益は1億97百万円(同33.2%増)、四半期純利益は1億21百万円(同39.0%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社フォー・クオリアを連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において株式会社スティルフィッシュは、株式売却に伴う議決権比率が低下したため、持分法適用の範囲から除外しております。

各セグメントの業績は、次のとおりです。

#### <コンテンツサービス事業>

コンテンツサービス事業におきましては、フィーチャーフォン(従来型携帯電話)からスマートフォンへの移行が進む中、配信するコンテンツを自社制作することで「提供コンテンツの権利を自社で保有」する当社独自のビジネスモデルをベースに、提供サイトの充実化を進めつつ、自社広告媒体を有効に活用してまいりました。

移動体通信事業者の公式サイトについては、フィーチャーフォン向け公式サイト会員数の減少を補うべく、スマートフォン向け公式サイト会員の新規獲得に取り組むとともに、auスマートパスやYahoo!プレミアム等の移動体通信事業者の施策に合わせたコンテンツ対応を積極的に進めてまいりました。

また、急拡大しているソーシャルゲーム市場に対してゲームアプリの提供を開始した他、iPhone向けのiOSアプリ提供等、他のプラットフォームでの収益基盤の構築に努めてまいりました。

その他、携帯電話販売会社と共同展開する有料課金サイトについては、新規獲得を増進させるとともに、新たなサイトを開発・拡充してまいりました。

海外では、中国において、2G、2.5G向けゲームコンテンツを配信しつつ、3G回線及びスマートフォン端末の拡大を見据え、事業ドメインを電子コミックの配信サービスと位置付け、中国の作家や出版業界と連携しながら、携帯電話向け電子コミックの配信を行ってまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は9億96百万円、セグメント利益は2億75百万円となりました。

#### <ソリューション事業>

ソリューション事業におきましては、企業における「スマートフォンを活用したプロモーション」をはじめ、「モバイルサイト構築」「運用業務」「ユーザーサポート業務」「デバッグ業務」「サーバ保守管理業務」等のサービス提供を行ってまいりました。また、当社の連結子会社である株式会社フォー・クオリアとの連携を強化し、スマートフォン向けコンテンツの開発スピード・提供量・品質を充実させてまいりました。

また、広告ビジネス「店頭アフィリエイト」については、スマートフォンの普及に合わせ、販売力の強化(携帯電話販売会社との協業)、コンテンツの仕入れ力の向上(良質なクライアント会社の獲得)に努めてまいりました。

その他、企業向けソリューションの事業領域を拡大すべく、コスト削減ソリューションを展開、中核サービスとして、インターネットを用いた高品質の購買調達システム「リバースオークション」の提供を開始いたしました。

海外では、中国において、企業向けにフィーチャーフォンやスマートフォンを活用したビジネス展開の営業を強化するとともに、中国移動体通信事業者である中国電信股份有限公司上海分公司と「携帯電話等の販売及び代理店業務等」において業務提携し、携帯電話販売店のオープンに向けた準備を進めてまいりました。(チャイナテレコム東方路店:12月1日運営開始済)

以上の結果、ソリューション事業の売上高は9億10百万円、セグメント利益は1億84百万円となりました。

※店頭アフィリエイト・・・携帯電話販売会社との協業による成功報酬型コンテンツ販売(リアルアフィリエイト)

※リバースオークション・・・バイヤー(買い手)が調達したい品目の購入条件などを提示し、これに対してサプライヤー(売り手)が価格を提示し、その中で最低価格を入札したサプライヤーを選ぶ取引方法

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して11億50百万円増加し47億27百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加により前連結会計年度末と比較して4億50百万円増加し29億57百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の増加により前連結会計年度末と比較して6億99百万円増加し17億70百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金、前受金及び繰延税金負債の増加により前連結会計年度末と比較して、5億14百万円増加し9億11百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当等がありましたが、四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末と比較して6億35百万円増加し38億16百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億58百万円増加し、18億74百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は3億65百万円（前年同期は69百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億29百万円及び、売上債権の減少額65百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は8百万円（前年同期は5億11百万円の資金の増加）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入3億35百万円及び、長期預金の払戻による収入1億円、定期預金の預入による支出4億8百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は60百万円（前年同期は50百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払48百万円及び、長期借入金の返済による支出7百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の連結業績予想につきましては、平成24年7月10日公表の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途公表しました「通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社フォー・クオリアを連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,975,454	2,410,265
受取手形及び売掛金	458,497	485,866
商品	1,877	1,699
仕掛品	5,141	10,027
貯蔵品	215	287
その他	65,563	49,219
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	2,506,550	2,957,165
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,419	25,434
土地	12,400	12,400
その他（純額）	32,870	25,350
有形固定資産合計	70,690	63,185
無形固定資産		
のれん	145,203	129,345
ソフトウェア	174,527	189,409
その他	166	129
無形固定資産合計	319,898	318,885
投資その他の資産		
投資有価証券	260,854	1,081,140
長期預金	300,000	200,000
その他	139,910	127,281
貸倒引当金	△20,798	△20,198
投資その他の資産合計	679,966	1,388,223
固定資産合計	1,070,555	1,770,293
資産合計	3,577,105	4,727,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,322	195,267
未払法人税等	45,343	93,149
賞与引当金	12,424	12,542
役員賞与引当金	8,800	16,322
その他	148,156	247,537
流動負債合計	361,047	564,820
固定負債		
退職給付引当金	11,294	16,315
その他	24,304	330,149
固定負債合計	35,599	346,464
負債合計	396,646	911,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,990	595,990
資本剰余金	473,942	473,942
利益剰余金	1,938,214	2,027,025
株主資本合計	3,008,148	3,096,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,946	600,442
為替換算調整勘定	2,969	△3,639
その他の包括利益累計額合計	57,915	596,802
少数株主持分	114,395	122,413
純資産合計	3,180,458	3,816,174
負債純資産合計	3,577,105	4,727,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	1,243,906	1,907,061
売上原価	540,309	1,000,443
売上総利益	703,596	906,618
販売費及び一般管理費	563,315	716,626
営業利益	140,280	189,992
営業外収益		
受取利息	3,128	2,734
受取配当金	1,858	1,126
持分法による投資利益	2,067	—
為替差益	—	4,620
受取賃貸料	780	780
その他	2,487	1,823
営業外収益合計	10,322	11,084
営業外費用		
支払利息	22	103
持分法による投資損失	—	3,089
為替差損	2,031	—
管理手数料	207	207
その他	26	195
営業外費用合計	2,289	3,595
経常利益	148,314	197,481
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36,641
投資有価証券有償減資払戻差益	4,400	—
新株予約権戻入益	2,134	—
特別利益合計	6,534	36,641
特別損失		
固定資産除却損	556	149
減損損失	—	1,435
投資有価証券売却損	—	2,489
災害義援金	66	50
特別損失合計	623	4,124
税金等調整前四半期純利益	154,225	229,998
法人税、住民税及び事業税	63,133	89,707
法人税等調整額	3,653	8,480
法人税等合計	66,787	98,187
少数株主損益調整前四半期純利益	87,438	131,810
少数株主利益	8	10,321
四半期純利益	87,429	121,489



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,438	131,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,990	545,496
為替換算調整勘定	△331	△6,608
その他の包括利益合計	△5,321	538,887
四半期包括利益	82,116	670,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,107	660,376
少数株主に係る四半期包括利益	8	10,321

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	154,225	229,998
減価償却費	26,741	49,546
固定資産除却損	556	149
新株予約権戻入益	△2,134	—
減損損失	—	1,435
のれん償却額	—	15,858
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△600	△600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	117
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,050	6,722
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	2,215
受取利息及び受取配当金	△4,986	△3,860
支払利息	22	103
投資有価証券有償減資払戻差益	△4,400	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	△34,151
為替差損益 (△は益)	2,035	△4,563
持分法による投資損益 (△は益)	△2,067	3,089
売上債権の増減額 (△は増加)	10,475	65,988
仕入債務の増減額 (△は減少)	△678	34,244
その他	△26,706	38,426
小計	147,412	404,719
利息及び配当金の受取額	10,454	5,074
利息の支払額	△22	△103
法人税等の支払額	△87,855	△44,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,988	365,646
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△464,151	△408,786
定期預金の払戻による収入	720,000	335,147
長期預金の払戻による収入	350,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△5,181	△2,107
無形固定資産の取得による支出	△36,735	△51,301
投資有価証券の有償減資による収入	14,056	—
投資有価証券の売却による収入	—	43,676
子会社株式の取得による支出	△11,050	—
貸付けによる支出	△44,000	△6,000
貸付金の回収による収入	2,577	2,324
敷金及び保証金の差入による支出	△18,413	△4,921
その他	4,267	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	511,371	8,072
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	120,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△120,000
長期借入金の返済による支出	—	△7,000
リース債務の返済による支出	△1,723	△1,723
配当金の支払額	△48,352	△48,423
少数株主への配当金の支払額	—	△3,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,076	△60,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,304	△903
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	528,978	311,927
現金及び現金同等物の期首残高	1,092,497	1,515,947
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	682	46,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,622,158	1,874,569

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	627,753	616,152	1,243,906	—	1,243,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16,196	16,196	△16,196	—
計	627,753	632,348	1,260,102	△16,196	1,243,906
セグメント利益	237,119	160,725	397,845	△257,564	140,280

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△257,564千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	996,829	910,232	1,907,061	—	1,907,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,375	26,375	△26,375	—
計	996,829	936,607	1,933,436	△26,375	1,907,061
セグメント利益	275,130	184,614	459,744	△269,752	189,992

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△269,752千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。